

平成二十六年年度

鳥取県立図書館

特別資料展

和本でたどる

昔の鳥取

人間は昔から、身の回りの出来事や自身の考えなどを紙に書き残してきました。鳥取でも、生み出された作品の数々が書き写しや印刷を経て多くの人々の手に渡り、現代を生きる私たちのもとにも受け継がれています。

鳥取県立図書館には100万点を超える資料があり、そのうち郷土に関する資料が約10万点ありますが、今回その中から「鳥取にかかわりのある昔の資料」を中心に紹介します。和とじの本をはじめ、巻物・軸物・絵図などさまざまな形の和本に描かれたふるさとの歴史・文化をお楽しみください。

写真：岡嶋正義『きゅうりいさくせん舊墨整覧四巻/全図』（鳥取県立図書館蔵）

会期 | 平成**26**年**12**月**5**日(金)～平成**27**年**1**月**7**日(水)

※会期中12月11日(木)、12月28日(日)～1月3日(土)は休館日

開館時間 | 火～金 午前9時～午後6時30分

土、日、月、祝日 午前9時～午後5時

会場 | 鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

主催 | 鳥取県立図書館

協力 | 鳥取県因州和紙協同組合、谷口・青谷和紙株式会社

入場無料

お問い合わせ

鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町 101

電話 0857-26-8155 ファクシミリ 0857-22-2996

ホームページ <http://www.library.pref.tottori.jp/>

和本でたどる昔の鳥取

【展示内容(資料は一例)】

1. 郷土和本のさまざまなかたちとその歴史

岡西^{いちゅう}惟中『惟中書巻 一卷』(江戸時代中期・井原西鶴らと名を連ねた俳人)
岡嶋正義『^{きゅうるいさくらん}舊壘鑿覽』(江戸時代後期・秀吉鳥取城攻めの陣地配置を描く)
教科書、ちりめん本(明治時代に出版、使用)

2. 飯田家資料にみる国学・和歌の広がり

加知^{かちみ}弥神社(鳥取市鹿野町)で神主・宮司を代々務めた飯田家に伝えられる資料群
飯田秀雄・年平(江戸時代の神官・歌人、鳥取の国学発展に貢献)を中心とする
飯田家の人々による歌集や、加知弥神社の由緒・記録
※平成25年度の寄贈後、初公開となります。

3. 和本でふりかえる鳥取県立図書館のルーツ

久松閣図書(最後の鳥取藩主・池田慶徳の書齋)
遠藤董画『寒月照梅花之図』(画家・教育者・図書館創設と多彩な活躍)
『鳥取県立鳥取図書館開館記念扇子』(昭和6年・元首相の若槻礼次郎書)

4. 現代を生きる「因州和紙」—終わりにかえて—

鳥取県伝統工芸士のかたによる手漉きの様子などを紹介した写真パネル
日本で初めて成功した“立体漉き”で制作された照明器具
因州和紙で作られた工芸品・ステーションナリー

鳥取県立図書館 2階 郷土資料室

紙コレクション

鳥取県に深く関わりのある「紙」がテーマの資料を集めた鳥取県立図書館独自のコレクション。

約1100点所蔵しています。ぜひご覧ください!

【こんな資料があります】

- ・和紙の歴史や文化についての資料
- ・全国の和紙見本帖
- ・紙パルプ産業に関する企業情報、統計データ
- ・千代紙や包装紙の見本帖
- ・ペーパークラフトの作りかた など

